

	発言要旨	市のコメント	担当課
1	岩手県ユニセフ協会花巻友の会の活動について ユニセフおよび日本ユニセフ協会の概要について、花巻友の会の活動内容について説明。 東日本大震災の後は物資支援や学校の清掃などのボランティア活動をした。現在は被災児の心のケアを中心に活動している。 日本ユニセフ協会からの活動支援金を資金として活動している。花巻友の会は賢治の精神をもとに、地域の人々の意向を聞きながら活動している。		こども課
2	「ユニセフ平和チャリティーコンサート共催」のお願い 花巻友の会設立25周年を記念して、7月27日(日)にコンサートを予定している。 市と教育委員会に共催をお願いしたい。併せて、当日はぜひ来場いただき祝辞をお願いしたい。	共催は承知した。 当日の予定は日程調整する。(秘書に連絡済)	こども課
3	学校での活動について 市内の学校ではユニセフについて勉強する時間がなかなか無いようだ。ほかの活動も大事だが、子どもの命にかかわる活動ということを理解して時間をとってほしい。	学校教育には(政治的な立場で)市長があまり口出しするべきではないと考える。 教育委員会や学校現場での判断が重要。学校の先生に理解してもらうことで授業のメニューに取り込んでもらえるのでは。	小中学校課

その他(ユニセフとは別件)

4	振興センターの活用について 地域の振興センターに高齢者も若者も気軽に集えるフロアがない。 わざわざ部屋を借りなくても、市役所のロビーのように土足で入れるところがあれば、一人暮らしの老人なども集まっておしゃべりしたりお茶を飲んだりして地域活性化につながるのではないかと考える。 ますます高齢化していく中で、高齢者の引きこもり予防にも、椅子とテーブルが置いてある簡単なつくりでもあればいいと思う。	コミュニティ会議のあり方や指定管理とも関係するので、市で一方的に決められることではない。土足でとなると構造も直す必要があるので、実現するには少しハードルが高いと感じる。	地域づくり課
---	---	--	--------